

一体…
何が…

何が
起きたの…

女ヲ犯セ

女ヲ犯シ
子ヲ孕マセヨ !!

イクスヴェリア レポート

X Report

-Ep1. 覚醒-

For adult only

犯セ！

X Report

-Ep1. 覚醒 -

□前書き□

この度は当サークル『NextPreview』の本を
手にとつて頂き、まことにありがとうございます。

今回の本は『魔法少女リリカルなのは vivid』の
世界を舞台にした成年向け凌辱本です。
タイトルからもわかるとおり、シリーズ化して
vividの可愛い女の子達を
ガンガン凌辱していくみたいと思っているので
そうち方面が好きな人はこのシリーズを
見守ってくださいね♪

*この本に登場する人物は、全て20歳以上です。

←から始まる春日木の漫画の仕様説明

白い枠

黒い枠

女の子がナレーションする枠です。
ナレーションの人物が変わった時は
枠の中に変わった人物が書かれます。

一般的なナレーション用の枠です。
お好きな声で再生して下さい☆

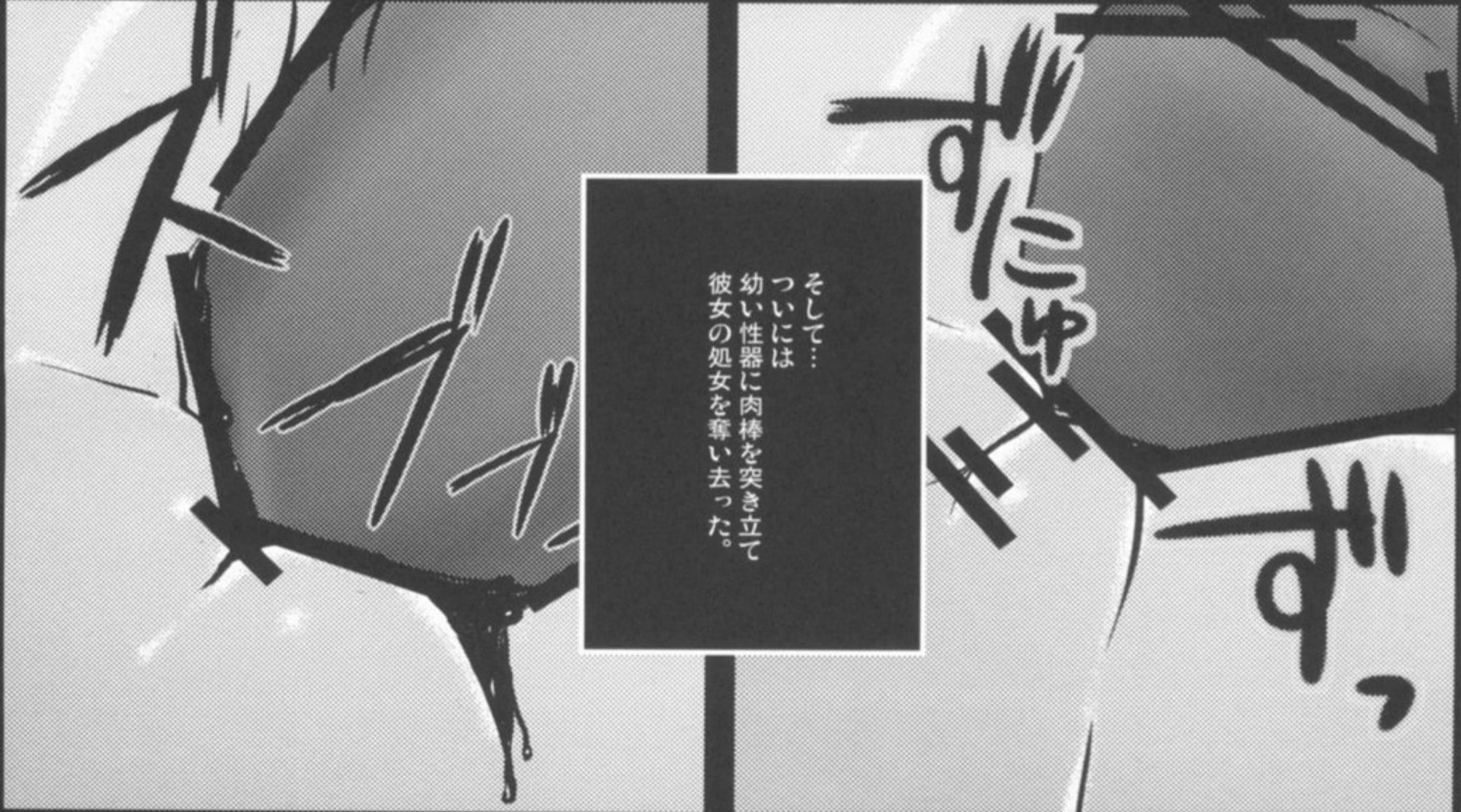


その事件の発端は数ヶ月前。

ベルカの遺跡で発掘された文献から
イクスヴェリアを目覚めさせる
可能性が見つかる。

これにより聖王教会と管理局が協力し、
特別チームが編制され

研究の為 イクスは以前の病室から、
別棟の研究施設に移されることになった。



これがイクスの
ドリカの男
隆也ッ!!

イクスが
目覚めないのを良い事に
彼の行動はエスカレートし
激しく腰を振り、
彼女の中を蹂躪した。

やがて絶頂に達した彼は
欲望の塊を
イクスの中に吐き出す。

痺れるような射精感、
とろけるような快感を
味わいながら
男は大量の精液を
イクスの膣内に放出した。

「どんでもない事を
してしまった…
だが…
イクスヴェリアは眠り姫

「証拠さえ消しておけば、
誰にも気付かれない
今夜の事は自分しか知らない…」
そう自分に言い聞かせ、
男は心を落ち着けた。

しかし、その時、彼は それ
膣内射精こそが

イクスヴェリア
「冥府の炎王」を目覚めさせる方法だと気づいていなかった。

どうしてこんな事になつたか…
私は それをもう一度
思い出そうとしました。
色々な場所が ずきずき痛みます。
体も重くて、いう事をききません。

朦朧とした意識の中…
私は自分の身に
何が起こったかを考えて
いました。

ヴィヴィオ

「イクスが目覚める方法が
わかるかもしない」
その朗報が
私の元に届いたのは一昨日のこと。

「でも、
その研究の為に
暫く…
イクスには会えなくなる」

「だから、
その前のお見舞いには
友達も連れてきて良いぞ」
そうノーヴェに言われた私は
みんなと一緒に
イクスのお見舞いに向かいました。

しかし、
イクスがいる施設には
先に着いているはずの
ノーヴェ達の姿は無く…

私達は手分けして
人を探す事にしました。

そして、
私とアインハルトさんは
一人の女の子を見つけ
声を掛け、近づいた時…

その女の子が炎を上げ大爆発したのです…

それから…
私は体を強く打ち、
体を動かせず座り込んでいる…

そうか…私…

あの爆発に
巻き込まれて…

ようやく状況が飲み込めた時、
薄暗い通路の向こうから
ぞろぞろと 人影が
近づいてくるのが見えました。

誰…この人達…

研究員の人達…?

最初はそう思いましたが、
その人達は
何故か全員 裸だったのです。

女ヲ犯セ…

何つ?
嫌つ…やめて…

いきなり
私の下半身に
性器を押し付けて
きたのです。

やめてえ!

そして…
その男のうちの一人が
私を押し倒し
ばらばらになった私の服を
乱暴に引き剥がすと

犯セ…

セ…

男は何も言いませんでしたが
頭に直接聞こえてくる声で
私の事を犯そうとしている事は
明白でした。

あ
あ
め
め

私は激しく抵抗しました。
つい最近 授業で
男女が性交するとどうなるかを
習つたばかりです。
私は動かない体を必死にひねり、
やめてくれるよう懇願し
あらん限りに抗おうとしました。

しかし、
それでも男のペニスは
慈悲無く私の体に
挿し込まれていきます。

やめてっ！

黒く硬いその肉の塊は
私の膣口を強引に押し開き
奥へ…奥へと進入し

ついには
私の処女膜を
奪い去りました。

味わった事のない
激しい痛みが
私の体にはしります。

痛いっ！

私は自分の体を、
無理やりこじ開けられ
異物で蹂躪されることが
こんなに辛いと初めて知りました。
そして、
そんな行為を止めてくれるよう
必死で懇願しました。

苦しい…
悲しい…

ですが、
私のそんな思いとは
うらはらに…

頼んでます

嫌わ

男の行為は
ますます激しさを
増していくのです。

男は私の両足を掴み上げ、
えぐるように
私の膣内にペニスを突きたてます。

体の自由がきかない私は、
彼の成すがままに
されるしかありません。

やめてっ！
もうやめてえ！

えへ、メカん、
が原、ンホヤ、

膣ニ出スゾミ
子ヲ孕メ！

やがて…
ただ無機質に
私を犯すだけだった
その男が
ある言葉を呴きました。

え…出す?
孕め…?

嫌ッ！
まさかっ！
いやあ！

「孕め」：
その言葉の意味が
分かってしまった私は
全力で逃げようとした。

しかし、私は
男に凄まじい力で掴まれ
身動きのとれぬまま腔内に
射精されてしまったのです…。



射精され…

しばらく
私は放心状態でした。

ですが、
股間に残る痛み…
股間を伝う精液の生温かさ…
それが私を次第に
現實に引き戻していきました。

あ…
あ…あ…

無意識のうちに
私は泣き叫んでいました。

私の名前を呼び続ける
AIN HARTさんにも
気がつかず…。



無力感。
それが今私の心を
完全に支配していました。

AINHALT

私の体は
私の心と繋がっていない
かのように
いう事を聞いてくれません。



トニートー

そして、
私の体には
さらに異変が起つていきました。

どうしてっ…

私の体は…
あろう事か
この屈辱的な行為に対して
快感を感じるようになつて
なつていたのです。

嫌なのにつ…
嫌なのにつ…

…どうしてっ！

ラグ…

どうしてこんなに
気持ちいいのつ…！

私のそんな変化を
知つてか知らずか
別の男が私に近づき…

…ツ！
苦しつ…

私の頭をわし掴みになると
そのまま強引に咽奥まで
ペニスを突き入れ
私の口内を犯し始めました。

何つ？

頭を揺さぶられ、
呼吸もままならない…
その非情な行為は
彼が私の咽奥に 生臭い精液を
吐き出すまで続きました。

助けて…
やめて…

…恥できな…

!?

さらに
異変が起きたのは
その直後でした。

何…
この感覚…?

私の体が…
我慢できないほどに
火照り始めたのです。

体が熱い…
どうして…

私の体に
一体 何が…
それはまるで
全身が
性感帯になつたかのような
感覚でした。
気持ちいい…
頭がくらくらする…

嫌ッ！

ドキ
今
触られたらっ！

今まで私の女性器を
指で弄んでいた男が
とうとうペニスを
挿入してきました。

そんな私に…

こんな状態で
入れられたら…！

ダメっ！



私はこんな自分が
恥ずかしくて
消えてしまいたいほどでした。

処女を…
奪われて…

大切な人を
あんな目にあわせた
奴らのにつ…

どうして…
私の体…

ですが
そんな私の意志に
反するように
体は快楽を欲し…

男の乱暴な挿入に
何度も何度も
イカされてしまうのです。

お願い…
元に戻って…！

もう嫌…つ
イきたくないつ！

せめてこれが痛みなら
耐えることができるのに…
いっそ
快感に心を委ねられるのなら
もっと楽になれるのに…

もうやめて…
気持ちよくさせないでっ！

これ以上
いかされたくないつ！

そんな事を考えながら
私はこの行為が
一刻も早く終わる事を
祈るしかありませんでした。

私の体に
触らないでっ！





出スゾ!
我ガ子ヲ孕メ!



やめないで…

混乱、動搖、嫌悪、快感、恐怖…
様々な感情が私の中に入り乱れ、
私は無意識のうちに
叫び声をあげていました。

「子宮内に出来ないで！」

心の奥から湧き出た叫び。
しかし、
その必死の声は
私を孕ませようとする男に…
聞きとげられるはずも
なかつたのです。

男が射精し終わったあと…

妊娠への恐れ…
自分の体への不安…
犯される事に対する
封じ込める欲求…



そんな感情の渦に
しばし呆然としつつも
私は：あの苦しい行為から
解放された事に
ただ安堵していました。

それが…
束の間の休息であると
気付きもせずに…

**第二世代マリアージュ編
リオ、コロナ陵辱編に続く...**

『NextPreview』サークルインフォメーション

<http://preview.sakura.ne.jp/>



既刊紹介



同人誌即売会にて、配布中です☆

第一二十七回インターミドルチャンピオンシップ
ミッドガルド地区選考会

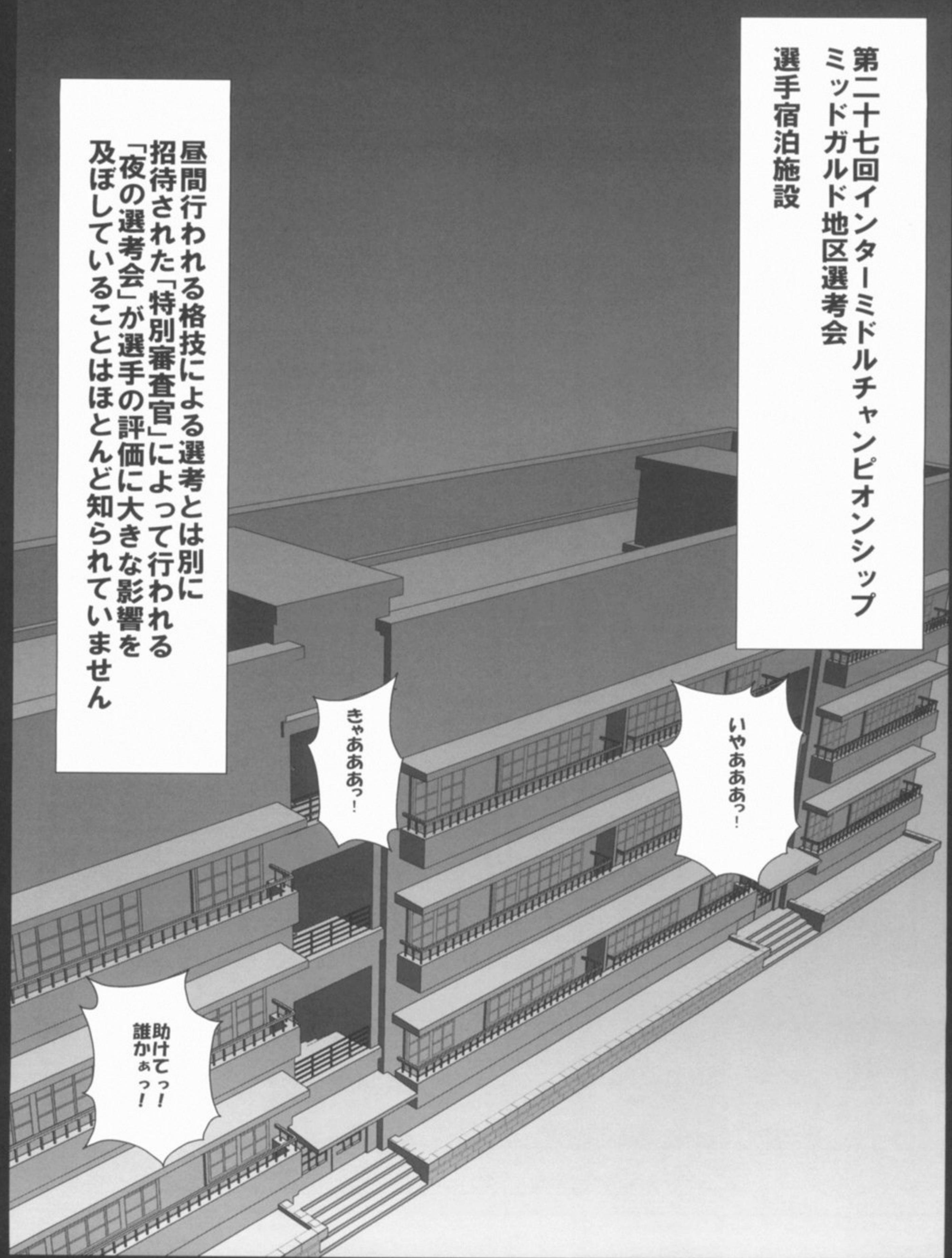
選手宿泊施設

昼間行われる格技による選考とは別に
招待された「特別審査官」によって行われる
「夜の選考会」が選手の評価に大きな影響を及ぼしていることはほとんど知られていません

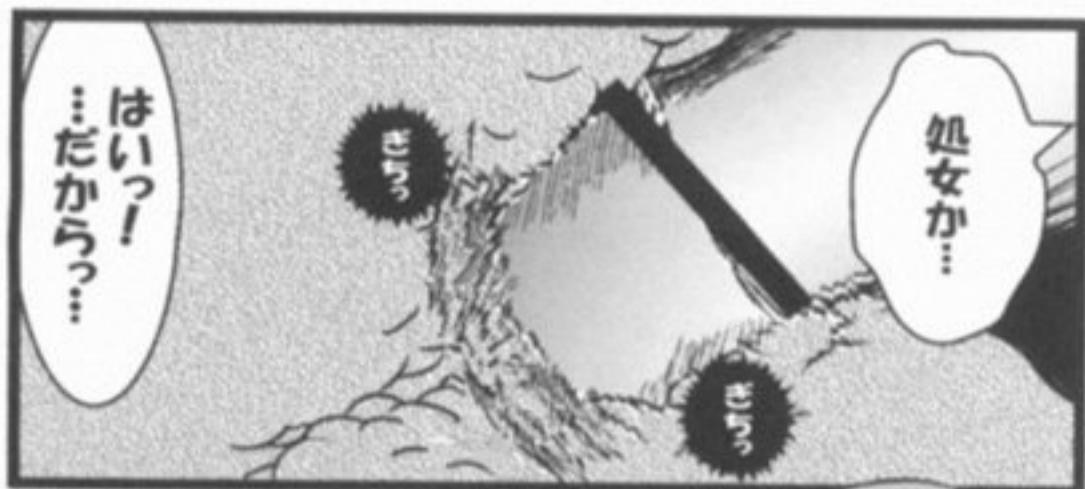
きゃあああっ！

いやあああっ！

誰助けて
あかん
つ！









選手たちのフィジカル・
メンタルを徹底的に覗き、
その素養を見極めます

審査員たちは、こうした技術に
長けています

もう…無理です…







審査結果...
本戦進出決定

はは...何を言つとるかね
D·S·A·Aルールでは
ダメージは全て
エミュレート、なのだろう?
うん、なんとかしたまえよ
ああ、この娘の審査だが
成長が楽しみだ...
成本戦も、ワシに回して欲しいね

ああ、ワシだ。
また、少し「審査」を
やりすぎてしまつてね...
ああ。素材としてはよかつたが
もう少しもって欲しかつたな
精神面の強化が必要だろう
いつものように記憶も身体も
全てリセット処理を頼むよ
...そうだ

高町ヴィヴィオ
LIFE 0
MENTAL 0
クラッシュエミュレート
股関節脱臼・下腹部蓄積ダメージ98%
・処女喪失・膣内射精による妊娠および
精神への深刻なダメージの可能性

おまけ



ヴィヴィオさん、AINHALTさんお疲れ様でした。 次回もよろしくっ！（お

奥付

イクスウェリア レポート
X Report
-Ep1. 覚醒-

発行 NextPreview
印刷 サンライズパブリケーション様
発行日 2011/12/31
連絡 mia@preview.sakura.ne.jp
HP <http://preview.sakura.ne.jp>

イクスヴェリアレポート No1

これは冥府の炎王「イクスヴェリア」（以下X）について、新たに発見された文献により判明した事実を記したレポートである。

Xは反乱行動を起こさぬよう、死亡した場合、不完全な個体としてクローン再生される。

不完全なXは、死体からしか「マリアージュ」を生み出せず、また機能不全で眠りに付くようプログラミングされている。

Xの機能を解放するには、「第一世代マリアージュ」の元となる、雄体の精液をXに与える必要がある。

雄体の精液をXの子宮内に注入すれば、Xは速やかに「第一世代マリアージュ」を作り出すモードへ移行し、自身の魔力と精液の遺伝子データから大量の「第一世代マリアージュ」を生産する。

「第一世代マリアージュ」は雄体である。

「第一世代マリアージュ」は雌体を見つけ、交配を行い「第二世代マリアージュ」を出産させる。

「第一世代マリアージュ」は、この行為を円滑に行う為、【爆散】【炎上】の能力に加えて、体液を飛散させ吸引させる、注入する事により、雌体を【支配】および【誘淫】する能力を持つ。

「第一世代マリアージュ」に【支配】された雌体は自由を奪われるだけでなく、交配の際、受精しやすいよう肉体を変化させられる。

排卵誘発、子宮口拡張、卵管拡張、卵巣進入直接受精などを行うとの記述もある。

その他の能力については、精液を注入した雄体の能力に依存するが、体形は雄体の持っていた記憶を元に「第一世代マリアージュ」の形状が変化するとの記述もあり、外見から力量を測ってはならない。

「第二世代マリアージュ」については、後のレポートに記述する。

2011.winter
Next Preview